

【賛否が分かれた議案】

議案番号	議案名
	議案の主な内容
議第2号	令和7年度土岐市国民健康保険特別会計予算
	総額53億8,157万6千円
議第8号	令和7年度土岐市病院事業会計予算
	収入14億2,846万円 支出19億190万2千円
議第11号	令和6年度土岐市一般会計補正予算（第8号）
	補正額4億1,839万9千円

議案番号	議決結果	伊藤 公男	安藤 勝彦	渡邊 豪	木股 英明	大久保 一夫	山内 健	後藤 正樹	安藤 学	小関 篤司	水石 玲子	水野 哲男	北谷 峰二	鈴木 正義	加藤 淳一	杉浦 司美	小栗 恒雄	西尾 隆久	塚本 俊一
議第2号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	○
議第8号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	○
議第11号	可決	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	議長	×

○…賛成 ×…反対

委員会報告(民生常任委員会)

令和7年度土岐市一般会計予算 所管部分

- 質疑** 総務費の結婚新生活支援事業の補助対象経費は。
- 答弁** 住宅取得にかかる費用、住宅の賃借料にかかる費用、住宅リフォーム費用、引越にかかる費用が対象となる。
- 質疑** 年齢要件等はあるのか。
- 答弁** 夫婦ともに婚姻日における年齢が29歳以下の世帯の場合は60万円以内、30歳以上39歳以下の世帯の場合30万円以内の補助額となる。
- 質疑** 同窓会開催補助金事業について、年齢制限や、補助条件はあるのか。
- 答弁** 25歳から27歳までとし、市内小中学校を卒業した学級、学年単位での開催に1回のみ1人2千円の補助を予定している。
- 質疑** 補助事業を実施する目的は。
- 答弁** 結婚への関心の向上、出会いの機会の創出、同世代の若者の交流の促進を目的とする。
- 質疑** 出会いの場創出事業の概要は。
- 答弁** 20代30代の独身者を対象に、共通の趣味の方が集まるイベントを開催し、年3回の実施を予定している。

質疑 結婚意識醸成事業の概要は。

答弁 市内の高校生を対象に将来設計を考える機会を作るライフデザインセミナーや市内在学の高校生、大学生を対象に恋愛、結婚を見据える中で自分に自信を持ってもらうための講座の開催を考えている。

質疑 民生費の戦没者慰霊碑撤去事業について、どの地区の慰霊碑を撤去する予定なのか。

答弁 令和7年度は泉地区を予定している。

質疑 こども医療費助成事業のうち高校生世代まで無償化拡大について、対象者と事業費をどのように見込んでいるのか。

答弁 高校生世代の拡大対象者は1,500人、増加分は4,960万円程度を見込んでいる。

質疑 子育て特設サイトをどのように構築するのか。

答弁 子育て世代への利便性の向上を図るためホームページにワンクリックで子育て支援情報につながるポータルサイトを構築する。

質疑 健やか成長お祝い事業の概要は。

答弁 乳児おむつ等購入応援として、1歳未満の乳児を養育する保護者の経済的負担を軽減するためのおむつなどと交換できるチケット2万円分を支給。小学校への入学を控える子どもを持つ保護者に対し5万円、中学校への入学を控える子どもを持つ保護者に対し3万円支給する。



質疑 認定こども園と幼稚園で非正規職員が担任を受け持つ状況は改善されているのか。

答弁 3歳以上児のクラス担任は正規職員が担えるよう体制を整えている。

質疑 病児・病後児保育施設の建設について費用負担はどのようになっているのか。

答弁 国、県からの補助金と人口割で瑞浪市からも負担いただく。

質疑 子育て世帯訪問支援事業のうちヤングケアラーの家庭をどのように把握し支援に結びつけるのか。

答弁 小中学校からの情報を子ども家庭センターで得て、どのような支援が必要か計画する。

質疑 衛生費の帯状疱疹ワクチン予防接種の自己負担額は。

答弁 1回接種の生ワクチンと2回接種の不活化ワクチンがあるが、生ワクチンは3千円、不活化ワクチンは1回7,800円が自己負担となる。

質疑 地域猫不妊去勢手術支援事業補助金が減額されている理由は。

答弁 本来県の所管であり、令和6年度から東濃保健所で開始されたため、補完するための予算のみの計上となった。

質疑 グリーントランスフォーメーション推進事業の新エネルギーシステム設置補助金が増額されている理由は。

答弁 ネットゼロエネルギーハウス、省エネ診断、太陽光発電設備・蓄電池設置補助の施策を拡充したことによる。

質疑 木くず等バイオマス発電燃料化事業の概要は。

答弁 環境センターに搬入された木くず等を業者に引き渡し、バイオマス発電の燃料として活用する。

質疑 東濃中部病院事務組合負担金の今後の推移は。

答弁 建設費の起債の償還が始まり、向こう5年間は医療機器、備品の起債分の償還もあるため負担金の額は大きくなるが、その後は負担金の額は徐々に下がっていく。また、元利償還金の40%が交付税措置される。

質疑 教育費の部活動地域移行事業について補助金が増額されているが現在の状況は。

答弁 登録チーム数は27から40に増加し、加入率も30%台から41%に増加している。

質疑 特別支援サポートティーチャーの配置に至った経緯は。

答弁 特別支援学級に所属する児童生徒が数年前より1.5倍近く増加しており、特別支援サポートティーチャーを配置し、行き届いた支援ができるようにする。

質疑 小中学生学習用タブレット購入事業について、現在使用しているタブレットの処分はどのようにするのか。

答弁 必要台数は残し、残りは買取業者への売却を予定している。

質疑 運動好きなこども育成事業の概要は。

答弁 子どもの体力低下を受け、小学校低学年から運動遊びを通じて運動の楽しさを学ばせるアクティブチャイルドプログラムをどの学校でも行えるよう取り組む。



令和7年度土岐市国民健康保険特別会計予算

質疑 被保険者数を何人と見込んでいるのか。

答弁 8,938人と見込んでいる。

質疑 1人あたりの保険料はいくらと見込んでいるのか。

答弁 1人あたりの保険料は11万2,547円。前年度比6.4パーセントの増額を見込んでいる。

質疑 保険料上昇の要因は。

答弁 1人あたりの医療給付費の増加と令和11年の県内保険料統一時に保険料の急激な上昇を抑えるため段階的な保険料上昇が必要となるため。

質疑 基金が思いのほか使われていない。保険料抑制のため基金の活用は考えていないのか。

答弁 将来起こり得る災害に備え、ある程度基金を確保する必要があるが、令和11年の県内保険料統一化に向け上昇幅が均一になるよう基金を有効活用していきたい。

討論 物価高騰等による市民の生活への影響を考えると基金を活用して、保険料を抑制するべきであり、この予算に反対する。

令和7年度土岐市介護保険特別会計予算

質疑 第1号被保険者数をどのように見込んでいるのか。

答弁 前年度比91人減の1万7,751人で見込んでいる。

質疑 要介護認定者数をどのように見込んでいるのか。

答弁 前年度比34人減の3,119人で見込んでいる。

質疑 基金から繰り入れることによって基金残高はどれくらいになるのか。

答弁 1億3,460万円繰り入れることによって残高は7億8千万円程度となる。

質疑 施設介護サービス給付費が増加となる要因は。

答弁 コロナ禍において入所控えがあったが、それが解消されつつあり、施設入所者の増加を見込んでいる。

令和7年度土岐市後期高齢者医療特別会計予算

質疑 被保険者数はどのように見込んでいるのか。

答弁 1万869人で見込んでいる。

令和7年度土岐市病院事業会計予算

質疑 総合病院の医師・看護師の確保の見通しは。

答弁 常勤医師が26.1人。常勤看護師は107人で計画している。

質疑 1日あたりの入院外来患者数はどれくらいで見込んでいるのか。

答弁 新病院開院までの10か月であるが、入院患者数は、1日98人。外来患者数は、1日216人を見込んでいる。

質疑 駄知診療所は、週1回の診療日で利用しづらいと思うが、令和7年度の診療体制はどうなるのか。

答弁 直近の患者数が、1日あたり7.3人であり、現時点では週1回の診療体制を続けたいが状況により変更も生じる。

討論 駄知診療所の診療体制が縮小されて行く状況の中、充実を望む声を聞く。病院が続く限りは充実させるべきでありこの予算に反対する。

令和6年度土岐市一般会計補正予算（第8号） 所管部分

質疑 小中学校照明器具取替工事について、5校分のLED化工事であるが、工期はいつまでか。

答弁 夏休みを中心に工事を行い来年2月末までの工期を予定している。

質疑 病院事業会計繰出金について、指定管理料の上限が決まっている中、市が負担すべきものなのか。

答弁 やすらぎ入所者の急激な減少を要因とするもので基本協定書第44条の経営基盤強化の規定により市が負担する。

討論 所管外であるが、文化財保存活用拠点（仮称）整備事業の設計変更について、約6,900万円をかけて3億円から4億円の事業費の縮減を行うものだが、費用対効果があまりにも少ないのではないかと。しっかりと市民の声を聞いた上で土岐市に見合う、市民が求める施設とすべきであり、この予算に反対する。

土岐市国民健康保険条例の一部を改正する条例

質疑 基礎賦課限度額を引き上げることによる対象世帯数は。

答弁 970万円の所得以上が対象となり、77世帯を見込んでいる。

質疑 低所得者の保険料の減額対象として影響のある世帯は。

答弁 5割軽減47世帯、2割軽減94世帯の合計141世帯を見込んでいる。

土岐市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び土岐市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

質疑 この改正により影響を受ける施設は土岐市にあるのか。

答弁 この条例に該当する園が土岐市に6園あるが、影響はない。

令和7年度土岐市一般会計補正予算（第1号） 所管部分

質疑 システム改修及び委託の内容についてどのようなものか。

答弁 システム改修に関しては不足分を算定するための改修、委託に関しては封入封緘に関するものである。

委員会報告(総務常任委員会)

令和7年度土岐市一般会計予算 所管部分

質疑 総務費の広報配布業務について、広報配布世帯数と自治会未加入世帯への対応はどのようにしているのか。

答弁 直近3月の自治会への配布部数は、1万7,362部である。ホームページや公共施設への配架により自治会未加入世帯へ対応している。

質疑 公用車管理事業について、公用車の更新基準はあるのか。

答弁 15年15万km、若しくは、10年20万kmを更新の目安としている。

質疑 市制70周年記念事業のデジタルスタンプラリーの概要は。

答弁 市が企画する70周年記念事業の会場でQRコードを読み込み、スタンプを集め、その達成者に記念品を贈呈する。

質疑 ふるさと応援寄附金について、返礼品と募集経費を合わせて寄付額の5割以内というルール内に収まっているのか。

答弁 返礼品と募集経費は5割以内に収まっているが、市のPRを含めたお礼状の送付経費等募集対象外経費があるため5割を超えている。

質疑 庁内保有データ可視化事業について、どのような職員研修を行うのか。

答弁 エビデンスに基づく政策立案の推進が求められている中で、その考え方やシステムに関する研修を行う。

質疑 総合病院跡地活用検討業務の概要は。

答弁 類似事例の調査研究とサウンディング型市場調査を実施する。

質疑 商工費の自動運転社会実装に向けた調査検討業務について、どのルート进行调查するのか。

答弁 土岐市駅から新病院に向けてのルートの調査を実施する。

質疑 美濃焼PR委員会事業の実施目的と取り組み内容は。

答弁 美濃焼製品を広く紹介・宣伝し、販路拡大を図ることを目的とし、東京でのイベントの開催、各地で実施するテーブルウェア等の展示会への出店に対する補助などを行う。

質疑 工場用地地歴調査について、どこで調査を実施するのか。

答弁 泉町久尻地内で企業誘致の用地調査を実施する。

質疑 販売戦略等チャレンジ協議会負担金について、協議会の取り組み内容は。

答弁 市、商工会議所、観光協会で協議会を作り、イオンモール土岐内にリアルとデジタルが融合した販売や展示方法の模索、美濃焼の知名度アップ、市のPRなどを目的に出店をしている。

質疑 企業立地奨励金の対象企業は何社か。

答弁 10社の補助を見込んでいる。

質疑 脱炭素美濃焼SDGsプロジェクト燃焼診断・技術指導事業の概要は。

答弁 美濃焼のガス窯焼成による二酸化炭素排出を抑制できるよう支援をする。

質疑 土木費の道路ストック総点検の概要は。

答弁 市内重要路線において緊急輸送道路や防災拠点をつなぐ道路の総点検を概ね5年に1度実施している。今回大型標識や情報提供装置の点検を実施する。

質疑 大規模盛土造成耐震化事業について、何か所の調査を実施するのか。

答弁 山地や丘陵地を造成した土地など63か所が対象で、2次調査の必要性の分類を進めて行く。



土岐市制70周年ロゴマーク

質疑 公園整備事業について、何か所の公園を整備するのか。

答弁 南山公園ほか8公園を対象に遊具の更新を行う。

質疑 妻木南部土地区画整理組合補助金について、区画整理の進捗率は。

答弁 事業費ベースで88.5%、保留地売却状況で99.3%である。

質疑 消防費の洪水・土砂災害ハザードマップ作成事業について、どのような改定を考えているのか。

答弁 洪水ハザードマップは最大の浸水想定をしたものを載せているが、浸水深・浸水範囲をどう表記するのか検討している。土砂災害ハザードマップは、県が随時見直しており、最新の情報に改定する。

質疑 緊急時防災情報放送の概要は。

答弁 FM たじみ「土岐ホットライン763」で防災に関する情報を放送し、災害時には市の災害情報を放送する。

質疑 ブロック塀等撤去事業補助金について、何件の補助を見込んでいるのか。

答弁 1件10万円で10件を見込んでいる。

令和7年度土岐市水道事業会計予算

質疑 肥田北部配水池送水管布設工事の概要は。

答弁 肥田の配水池から泉北部配水池を結び、泉地区1万5千人を対象とした配水を計画している。

令和7年度土岐市下水道事業会計予算

質疑 監視機器アナログ回線のウェブ回線への更新について、何年かけて49か所の更新を行うのか。

答弁 5年を目途に更新するよう検討している。

質疑 建設改良企業債の償還金のうち、農業集落排水の償還金はどれ位か。

答弁 約1,635万円を計上している。

令和6年度土岐市一般会計補正予算（第8号） 所管部分

質疑 文化財保存活用拠点（仮称）整備事業の設計変更について、約6,900万円を使って3億円から4億円の建築費の削減では費用対効果からみても減額額が少ないと感じるがどうか。

答弁 建築費の減額に加え設備の見直しにより、開館後のランニングコストの抑制につながるため費用対効果があると考えます。

質疑 具体的にどの部分の設計を見直すのか。

答弁 収蔵庫の仕様や構造の見直し、自動ドア・内装等の器具の見直し、トキハク広場の縮減南側駐車場整備の取りやめや、外構の見直し等を行う。

質疑 基本構想からここまで積み上げてきたものを簡単に変更するのか。

答弁 「議会報告会で市民から博物館について出た意見を重く受け止めるように」と言う報告を議長名で受けたことに基づいて、今回見直す考えに至った。

討論 文化財保存活用拠点（仮称）整備事業の設計変更について、約6,900万円を使って3億円から4億円の建築費の削減では費用対効果に疑問がある。議会報告会でも新博物館建設について多くの疑問の声を聞いている。市民の大半が理解しない以上、建設を進める必要はないと考え、この予算に反対する。

討論 今回の設計変更は、議会報告会における事業費が大き過ぎるといった市民の批判的な意見を含む報告書の提出を土岐市議会の総意に基づくものとして市長をはじめとした執行部が重く受け止めたことにある。従って報告書を提出した議会としてその判断を尊重すべきであり、この予算に賛成する。

討論 約6,900万円を使ってグレードを下げるだけの見直しであり、相当な金額の削減につながらないとメリットを感じない。ランニングコストも含め大幅な削減ができないこの予算に反対する。

討論 今回の設計見直しで、必要最低限の機能を維持しつつコスト削減と効率化を実現することは、将来的に維持管理の抑制にも寄与すると期待され、事業全体の透明性やより効果的な体制を確立することで持続可能な公共施設のあり方を示すことができる。本予算は財政負担を軽減しつつ合理的かつ妥当な内容であると判断し賛成する。

討論 いまだにランニングコスト、館外施設の詳細、周辺整備事業の詳細も明確になっていない。これらの関連事業費も含めて考える必要がある。もっと大幅な削減が必要であるのではないかと考え、この予算に反対する。

文化財保存活用拠点（仮称）整備事業について、以下の付帯決議を付すべきものと賛成多数で決しました。

1. 新築工事実施設計及び展示・収蔵環境等実施設計の変更にあたっては、将来にわたる財政の健全性に鑑み、事業費の圧縮に可能な限り努めること。
2. 事業の意義や目的を市長自らが市民に対して十分に説明し、市民の意見を真摯に受け止める機会を設け、事業に対する市民の理解醸成に努めること。
3. 上記2つの事項に係る取組状況等については、議会に対して適宜報告すること。



第1回定例会時点での新博物館完成イメージ

土岐市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

質疑 扶養手当の改正による影響額は。

答弁 扶養手当を月額1万円から1万3千円に増額し、配偶者手当の6,500円を2年かけて廃止することにより、令和7年度312万円、令和8年度360万円増額となる。

土岐市職員の育児休業等に関する条例及び土岐市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

質疑 介護休暇の規定を設けることでの影響は。

答弁 明文化されることで介護休暇を取りやすい環境が期待される。

土岐市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例の一部を改正する条例

質疑 介屋根付き広場、トイレや駐車場など特定公園施設を有する公園は何公園あるのか。

答弁 市内67の都市公園のうち56公園が特定公園施設を有している。

土岐市第三者委員会設置条例

質疑 委員の人選について、その他市長が必要と認める者としているが、どのような人選を想定しているのか。

答弁 その事案ごとに、専門的な知識を有する人を人選する。

質疑 日弁連のガイドラインでは、「自治体から独立した委員で構成する。」とあるが、どのように人選するのか。

答弁 委員の人選は土岐市と利害関係のない人を選任する。

令和7年度土岐市一般会計補正予算（第1号） 所管部分

質疑 物価高騰対策支援事業のお米券配布事業はどのようなものか。

答弁 1枚440円の金券10枚を配布し、全世帯に6月上旬に発送予定である。

質疑 近隣自治体では同様の事業を行っているか。

答弁 東濃圏域では土岐市以外実施している自治体はない。

質疑 第三者委員会は何回開催し、どのくらいでの答申を想定しているか。

答弁 6回分の予算を計上し答申時期は年内を想定している。

質疑 第三者委員会の委員構成は。

答弁 弁護士2名、名古屋市消防局職員1名の合計3名である。

視 察 報 告

議会改革特別委員会

視察先：1月21日(火) 愛知県岩倉市 「議会改革の取り組みについて」

岩倉市の議会サポーター制度は、無作為に市民に対し500名に送り100名から回答が有り20名に参加者を募り議会を傍聴して意見を聞き議会を知って頂く制度で議会改革推進条件を進める事を目的としている。しかしながらサポーター制度開始以降、公募人数が減少傾向にあり本市として議会サポーター制度について考えると余り効果がない様に思われる。市民から意見を聞くことについては議会報告会を充実する事で十分と思います。



視察先：1月22日(水) 静岡県御殿場市

「開かれた議会を目指すための取り組みについて」



御殿場市の未来議会プロジェクトは、これからの議会を担っていく人材の育成と若者の意見や考えを聞き今後の議会運営の参考にして行こうとする事業で若者プロジェクトを更に発展させた形で実施している。御殿場市議会政治塾 高校生との交流事業、大学生との交流事業を行い、議会への関心や議員という仕事に興味を持っていただき市議会活動の理解、意見交換会の感想、市議会への意見を聞き今後の活動に活かしている。

(委員長：安藤 学)

視察報告

広報広聴特別委員会

視察先：2月3日(月) 奈良県北葛城郡王寺町

市民の方が「見たくなる議会だより」にするための勉強に行き、紙面に写真やイラストをもっと入れる。文字を減らすこと。文字そのものを誰でも読みやすい文字にする。行間ももう少し広げる。難しい専門用語も減らすか解説を入れるなど工夫する。また、市民の活動の特集号とし掲載するなど、市民が写っている写真を取り入れることにより市民と議員がより近く感じるなど大変有意義であった。

「議会だよりについて、
広報広聴活動について」

視察先：2月4日(火) 兵庫県宝塚市

「議会報告会について、意見交換会について」



インターネットを使い自宅からでも議会報告会の傍聴ができ、質問もできるよう、市民の方がどうしても会場に来られなくても参加できるようにし参加者増となっている。土曜、日曜日開催により女性参加者増となる。意見交換会は議会報告会とは別に実施され、お互いに自由に意見を出し合っている。昨年度実施した本市の報告会時の意見交換と同様であった。

(委員長：北谷 峰二)

あなたも市議会を傍聴しませんか！

市議会では、市民の皆様の生活に密着した重要な問題が審議されています。市役所2階の議会事務局で受付をすればどなたでも傍聴できます。市政を知っていただくためにも、お気軽にお越しください。

